



Farewell Part 1: Beginning of the End Stacey Fujikawa

Another season of soft pink sakura petals have bloomed and fallen to the earth. The ground is green and the breeze is warm. Spring has arrived once again!

Throughout this year there are many lasts in Higashikawa for me. Last graduation ceremony, last sakura season, last sports day. I often find that I am more emotional and sentimental at events this year, knowing that they are my last. The moments I take to reflect upon and appreciate what is happening around me are becoming longer and longer the closer I am to leaving. I never want to forget all of the amazing things that have happened and the people I have met these past(*) three years.

I finish work at the end of July. After, I will travel in Japan for about a month before I return to Canada. I will travel with another Canadian ALT who I came to Hokkaido with almost three years ago. We will take trains down to Tokyo, making stops along the way to visit festivals and tourist sites. During my final week in Japan my friend, Amy, who I grew up with in a small town like Higashikawa will come visit me.

I'm looking forward to seeing my family and friends back home, but I will miss Higashikawa very much. I know I'll visit again one day.

さようなら、その1 終わりの始まり スターシー・フジカワ

淡いピンクの花びらの桜が咲いては散っています。大地は緑になり、風が暖かい。また春が来ましたね。

今年、私にとっては「東川で最後」がたくさんあります。最後の卒業式、最後の桜、最後の運動会。今年で最後だと思うと、いつも以上に気持ちが入り、感傷的になります。町を去る日が近づくとつれ、身の周りの出来事を思い起こしてみたり、感謝したりする時間が長くなります。この3年間の素晴らしい出来事、出会ったすべての人を決して忘れたくありません。

7月の末で仕事を終えます。その後はカナダに帰る前に、1カ月かけて国内を回ります。3年近く前に、同じくカナダから来たALTと一緒に。祭りや観光地に寄り道しながら、列車で東京へ向かいます。日本で最後の1週間には、東川と同じように小さい町で共に育った友だちのエイミーが訪ねてきてくれます。

家族や友だちに会うのが楽しみです。でも東川のことがとって恋しくなるでしょう。きっとまた、来るつもりです。

(訳:宮地晶子)

英語教育指導員 宮地晶子の

エイゴノマナビカタ

第108回

レリゴー現象

「レリゴー♪レリゴー♪」。歌っていますか？ ディズニーアニメ「アナと雪の女王」の楽曲「Let It Go」。あまりにもみんなが歌っているので、世間ではレリゴー現象とまで言われているとか。この意味は「自分の意思で何かを捨てる、心にある何かを解放する」という感じ。映画では、主人公の一人、エルサが、それまでの悩みを捨て、隠してきた魔法の力や過去を捨てて自分を解放する、という強い気持ちを歌っています。

“Let it go let it go Can't hold it back any more Let it go

【ちょっと豆知識】宮地晶子

※past(パスト)「過去」という言葉が出てきました。「未来」はfuture(フューチャー)、「現在」はpresent(プレゼント)。

“The past is history, the future is a mystery, and this moment is a gift. That is why this moment is called ‘the present.’” 「過去は歴史、未来は神秘。そして今の瞬間は贈り物。だから、今の瞬間を“プレゼント”と言う」と言ったのはインドの哲学者。

Your present effort becomes the present to your future. 「今の努力が未来のあなたへのプレゼントになる」なんてね。

Let it go Turn away and slam the door I don't care what they're going to say” —どうすることもできない状態をlet it goする。歌にも映画の台詞にもよく使われる表現です。

例えばこんな感じ。“You should let it go and get on with your life.” 「そんなこと忘れて、前に進んだら」。Let it goは日本では女優の松たか子さんが歌っていますが、歌詞は「ありのままの」となっていて、英語と比べるとやや優しい感じがします。

「レリゴー」と聞いて、ビートルズの「Let it be」を思い出した人はいませんか。こちらも「レリビーレリビー」とずいぶんはやりました。be(ビー)動詞は動かないイメージなので、実はこちらの方が「ありのまま」の意味でしょう。

発音に関して理屈を言えば、アルファベットの「t」が母音「a.i.u.e.o」に挟まれるとラ行に変わるので、let it beはレリビーと聞こえるのです。だからlet it goもレットイットゴーではなく、レリゴー。でも、こんな音の崩れも歌を歌えば理屈抜きで身につきますよね。歌詞付きの動画もありますよ。歌っていくうちに力がみなぎってくる気がするでしょう。1曲歌えるようになって得られるものは、実はとてつもなく大きいのです。みなさんも熱唱してみませんか。